

6.2. 口頭発表

本節には、気象研究所の職員が、平成 23 年度に筆頭者として行った講演・口頭発表などを掲載した。発表の情報は、タイトル、研究集会、発表年月、発表会場（都市名）の順で掲載した。

- 青木重樹
- ・規格化短周期エンベロープを用いた断層破壊の即時的イメージング, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・規格化短周期エンベロープを用いた想定東南海・南海地震の断層破壊の即時的イメージング実験, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震の短周期エンベロープを用いた振動源イメージング(暫定版), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・強震動の継続時間から見た破壊伝播の特徴, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・平成 23 年(2011 年)東北地方太平洋沖地震の地震像, 第 9 回環境研究シンポジウム, 2011 年 11 月, 東京都千代田区.
 - ・2003 年十勝沖地震や 2011 年東北地方太平洋沖地震の強震動の継続時間から見た破壊伝播の特徴, 日本地震工学会・大会-2011, 2011 年 11 月, 東京都渋谷区.
- 青木輝夫
- ・積雪 2 層モデルによる積雪物理量の衛星リモートセンシング, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・近年観測された積雪中ブラックカーボン濃度と起こりうる積雪粒径変化がアルベドを低下させる効果, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・Possible snow albedo reduction due to black carbon in snowpack and snow grain size variation on the present earth, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 6 月, オーストラリア, メルボルン.
 - ・積雪粒径及び不純物の衛星リモートセンシングー積雪 2 層モデルと非球形粒子モデルの効果ー, 雪氷研究大会 2011, 2011 年 9 月, 新潟県長岡市.
 - ・グリーンランド予備調査報告, 北極域における積雪汚染と雪氷微生物が温暖化に及ぼす影響に関する第 1 回ワークショップ, 2011 年 10 月, 東京都千代田区.
 - ・Satellite remote sensing of snow physical parameters using two-snow layer model, The 5th Korea-Japan-China Joint Conference on Meteorology, 2011 年 10 月, 韓国, 釜山.
 - ・グリーンランド・カナックにおける分光アルベド測定, 第 2 回極域科学シンポジウム, 2011 年 11 月, 東京都立川市.
 - ・積雪アルベド物理モデルの札幌における 5 冬期間の計算精度評価, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋.
 - ・Accuracy of physically based snow albedo model evaluated with measured data at Sapporo, Japan during five winters from 2006 to 2011, AGU Fall Meeting 2011, アメリカ, サンフランシスコ.
 - ・Snow parameter retrievals from satellite in Greenland using two-snow layer model algorithm, Colloquium of Institute for Snow and Avalanche Research, 2012 年 3 月, スイス, ダボス.
 - ・Physically based snow albedo model Colloquium of Institute for Snow and Avalanche Research, 2012 年 3 月, スイス, ダボス.
 - ・グリーンランド・カナック氷河消耗域における波長別アルベドのモデル化とグリーンランドにおける黒色炭素観測のレビュー, 第 2 回 SIGMA (北極域における積雪汚染と雪氷微生物が温暖化に及ぼす影響) に関するワークショップ, 2012 年 3 月, 北海道札幌市.
- 青梨和正
- ・雲解像モデル用の Ensemble に基づく変分同化法への Spectral Localization の導入, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・新しい陸上のマイクロ波放射計降水リトリーバルアルゴリズムの開発 (その 2), 日本気

- 象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京渋谷区.
- ・ 新しい陸上のマイクロ波放射計降水リトリバルアルゴリズムの開発 (その 3), 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Neighboring Ensemble を用いた雲解像モデル物理量の予報誤差相関の解析, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 青柳曉典
- ・ 都市多層放射モデルによる都市表面温度上昇ポテンシャルの評価, 日本ヒートアイランド学会第 6 回全国大会, 2011 年 7 月, 茨城県つくば市.
 - ・ Near-term Prediction of Urban Climate Based on Urban Growth Scenarios in the Tokyo Metropolitan Area, 第 5 回日中韓気象学会共催国際会議, 2011 年 10 月, 韓国, 釜山.
 - ・ 多層都市キャノピースキームの開発—多層放射モデル—, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Relationship Between Urban Warming and Surface Wind Speed -A Numerical Study on Climatic Changes Induced by Land Surface Modifications, AMS 92nd Annual Meeting, 2012 年 1 月, アメリカ, ニューオリンズ.
- 青山道夫
- ・ 137Cs trend in global ocean and land: past and present, ICAS2011 (IUPAC International Congress on Analytical Sciences), 2011 年 5 月, 京都府京都市.
 - ・ Present Homogeneity and Stability of Reference Materials for Nutrients in Seawater, ICAS2011 (IUPAC International Congress on Analytical Sciences), 2011 年 5 月, 京都府京都市.
 - ・ 海洋の人工放射能の長期挙動: 過去、現在及び未来, 2011 年度日本地球化学会年会, 2011 年 9 月, 北海道札幌市.
 - ・ Budgets and temporal change of radiocaesium distribution released from Fukushima NPP accidents in the North Pacific Ocean, Ocean Sciences Meeting, 2012 年 2 月, アメリカ, ソルトレイクシティ.
 - ・ 福島第一原子力発電所事故に伴う大気・海洋の人工放射能の変動, 平成 23 年度気象研究所成果発表会, 2012 年 3 月, 茨城県つくば市.
 - ・ 北太平洋広域観測結果から推定される福島事故由来の人工放射能の分布と放出総量について, 公開ワークショップ「福島第一原子力発電所事故による環境放出と拡散プロセスの再構築, 2012 年 3 月, 東京都千代田区.
 - ・ Distribution of 137Cs and 134Cs in the North Pacific Ocean: impacts of TEPCO Fukushima-daiichi NPP accident, 9th International Conference on Methods and Applications of Radioanalytical Chemistry, 2011 年 3 月, アメリカ, コナ.
- 足立アホロ
- ・ 科学技術戦略推進費「気候変動に伴う極端気象に強い都市創り」の概要とその観測機器の紹介, 日本リモートセンシング学会 第 50 回 (平成 23 年度春季) 学術講演会, 2011 年 5 月, 東京都世田谷区.
 - ・ Detection of convective cells with a potential to produce local heavy rainfalls by a C-band polarimetric radar, SPIE Remote Sensing Co-located with SPIE Security+ Defence 2011, 2011 年 9 月, チェコ, プラハ.
 - ・ レーダーシミュレーターの偏波レーダー観測への応用 (その 2) 反射因子差を用いた降水強度推定手法の特性, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Rainfall estimation and detection of hazardous convective cells with a Dual-Polarized C-band radar, AGU Chapman Conference on Remote Sensing of the Terrestrial Water Cycle, 2012 年 2 月, アメリカ, コナ.
 - ・ The Tokyo Metropolitan Area Convection Study (TOMACS): Background and design of the observational test bed for extreme weather in an urban area, 2012 National Severe Weather Workshop, 2012 年 3 月, アメリカ, ノーマン.
 - ・ An Estimation of Measurement Error of Polarimetric Parameters Obtained by the MRI C-band Dual Polarized Radar, Atmospheric Radar Research Center Seminar Series, 2012 年 3 月, アメリカ, ノーマン.

- 安藤 忍
- ・ 「だいち」が捉えた 2011 霧島新燃岳の噴火経過, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ SAR 干渉解析による全国の活火山 (4), 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
- 五十嵐康人
- ・ Aerosol radioactivity observed in Tsukuba during March 2011, ICAS2011 (IUPAC International Congress on Analytical Sciences), 2011 年 5 月, 京都府京都市.
 - ・ 大気中の人工放射性核種の長期挙動の研究-1950 年代から現在, ICU 大学依頼講演, 2011 年 5 月, 東京都三鷹市.
 - ・ 気象研究所での山岳を利用した大気エアロゾル研究の紹介, 第 1 回山岳大気シンポジウム, 2011 年 6 月, 東京都新宿区.
 - ・ BC の電子顕微鏡観測と全球エアロゾルモデルによる研究, 環境省推進費 A-1101 キックオフ会合, 2011 年 7 月, 東京都文京区.
 - ・ 2011 年 3 月につくばで観測されたエアロゾル態放射能, 第 28 回日本エアロゾル科学・技術研究討論会, 2011 年 8 月, 大阪府堺市.
 - ・ 福島原発事故による放射性物質の環境影響, 第 52 回大気環境学会年回特別集会 6, 2011 年 9 月, 長崎県長崎市.
 - ・ 日本に飛来した黄砂と現地表土中の放射性 Cs/Sr 同位体比解析から推定した黄砂発生源変動, 鳥取大学乾燥地研究センター, 2011 年 9 月, 鳥取県鳥取市.
 - ・ 原発事故における放射能拡散について, Spring8 利用促進協議会第 5 回安心安全のための分析評価研究会, 2011 年 10 月, 東京都新宿区.
 - ・ Aerosol research using electron microscope and mountain platform, 第 5 回韓日中合同気象学会, 2011 年 10 月, 韓国, 釜山.
 - ・ 核災害を含む緊急時対応システム—欧州の先事例から, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 大気放出・輸送・沈着過程, 筑波大学エネルギー環境学域講演会「福島事故における放射性物質の拡散予測と降水量推定」依頼講演, 2011 年 11 月, 茨城県つくば市.
 - ・ 放射性降物の長期変動と再浮遊に関する研究, 第 53 回環境放射能調査研究成果発表会, 2011 年 12 月, 東京都千代田区.
 - ・ 「つくばにおける大気放射能観測—福島事故による大気エアロゾル, 降下物の変動の実態」, マイクロビームアナリシス第 141 委員会 第 147 回研究会, 2012 年 3 月茨城県つくば市.
 - ・ 気象研究所での山岳を利用した大気エアロゾル研究の紹介 2, 東京理科大学総合研究機構山岳大気研究部門成果報告会, 2012 年 3 月, 東京都新宿区.
- 石井雅男
- ・ RECCAP regional synthesis for Pacific Ocean, RECCAP Final Workshop, 2011 年 5 月, アメリカ, シェファーズタウン.
 - ・ Interior carbon changes in the Pacific, The Ocean carbon cycle at a time of change: synthesis and vulnerabilities, 2011 年 9 月, フランス, パリ.
 - ・ Mode waters: the uptake window of natural and anthropogenic CO₂ into the ocean interior. Ocean Sciences Meeting 2012, 2012 年 2 月, アメリカ, ソルトレイクシティ.
 - ・ 炭酸系データのシンセシス結果, 2012 年度日本海洋学会春季大会, 2012 年 3 月, 茨城県つくば市.
- 石井正好
- ・ A new Historical SST Analysis: COBE2-SST. Third International Workshop on Advances in the Use of Historical Marine Climate Data (MARCDAT-III), 2011 年 5 月, イタリア, フラスカチ.
 - ・ Ocean heat content variations and its trends estimated from historical oceanographic observations. Third International Workshop on Advances in the Use of Historical Marine Climate Data (MARCDAT-III), 2011 年 5 月, イタリア, フラスカチ.
 - ・ Quantification of uncertainty by an ensemble data assimilation method. 6th EU-Janpan workshop on climate change research, 2011 年 10 月, ベルギー, ブリュッセル.
 - ・ Decadal climate prediction with initialized climate models. Twelfth Joint Meeting for the

- Seasonal Prediction of the East Asian Winter Monsoon, 2011 年 11 月, 東京都千代田区
- ・ アンサンブルデータ同化手法を用いた不確実性定量化技術の開発, 21 世紀気候変動予測革新プログラム FY23 研究成果報告会, 2012 年 2 月, 東京都千代田区.
 - ・ 海氷予測システムの構築, 2012 年度日本海洋学会春季大会, 2012 年 3 月, 茨城県つくば市.
- 石橋俊之
- ・ 4D-Var における評価関数の 2 次形式を保持した基本場更新の効果, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 非線形性の強い観測データの全球大気解析での利用, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 観測システムへのデザインに向けて OSSE の実際, ドップラーライダーによる宇宙からの風観測を考える検討会, 2012 年 2 月, 東京都文京区.
- 石元裕史
- ・ 複雑雪片モデルのマイクロ波散乱特性, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Shape modeling of dust and soot particles for remote sensing applications taking into account the geometrical features of sampled aerosols, International symposium on aerosol studies explored by electron microscopy, 2012 年 2 月, 茨城県つくば市.
 - ・ Microwave scattering properties of complex shaped snowflakes, AGU Chapman conference on remote sensing of the terrestrial water cycles, 2012 年 2 月, アメリカ, コナ.
- 猪上華子
- ・ 冬季突風をもたらす気象擾乱の環境場把握に向けた高頻度ゾンデ観測概要, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 2009 年 1 月 23 日に庄内平野に突風をもたらした気象擾乱(序報), 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 岩尾尊徳
- ・ Estimation of the Hourly Sea surface Temperature by the MTSAT, IAP workshop "The application of ensemble-based method in the ocean", 2011 年 11 月, 中国, 北京.
- 岩切一宏
- ・ 深井戸と地表の強震データのスペクトル比による緊急地震速報の震度予測, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 2011 年東北地方太平洋沖地震のはじめの 30 秒のスペクトルと τ_c ; 高周波の生成, 平成 23 年度東京大学地震研究所共同利用研究集会「地震動の瞬時解析と直前予測」, 2011 年 9 月, 東京都文京区.
 - ・ 2011 年東北地方太平洋沖地震のはじめの 30 秒における 10Hz 以上の高周波地震動, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ 深井戸の強震データによる震度予測: 震度差による方法とスペクトル比による方法, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
- 上清直隆
- ・ 主成分を利用した AIRS データによる気温・水蒸気プロファイルのリトリーブ, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2010 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 主成分を利用した AIRS データによる気温・水蒸気プロファイルのリトリーブ (放射モデルによる違い: MITRAN と RTTOV の比較), 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 碓氷典久
- ・ Long-term Variations of the Kuroshio Path South of Japan, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 6 月, オーストラリア, メルボルン.
 - ・ 気象研究所海洋再解析データの紹介, 第 15 回データ同化夏の学校, 2011 年 8 月, 青森県むつ市.
 - ・ Improved representation of nearshore processes at the southern coast of Japan using a 4DVAR assimilation system, International Workshop of the Coastal and Shelf Seas Task Team, 2012 年 1 月, アメリカ, マイアミ.
 - ・ Long-term Variability of the Kuroshio Large Meander, 2012 Ocean Sciences Meeting (2012 年海洋科学研究集会), 2012 年 2 月, アメリカ, ソルトレイクシティ.
 - ・ 黒潮大蛇行の長期変動の実態, 2012 年度日本海洋学会春季大会, 2012 年 3 月, 茨城県つくば市.
- 内山明博
- ・ つくばでの地上観測によるエアロゾル光学特性の変動, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.

- ・ 北極・ニーオルスン観測基地での混合雲の微物理特性の測定と放射特性 (1), 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- ・ Microphysical Properties of Boundary layer Mixed-phase Cloud observed in Ny-Alesund, Svalbard, AMS 92nd Annual Meeting, 2012 年 1 月, アメリカ, ニューオリンズ.
- 遠藤洋和
- ・ MRI-AGCM による 2010 年夏の再現実験, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2010 年 5 月, 東京都渋谷区.
- ・ 過去 100 年の日降水量データによる梅雨の季節進行の長期変化 第 2 報, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2010 年 5 月, 東京都渋谷区.
- ・ MRI-AGCM による 2010 年夏の再現実験, 研究会「長期予報と大気大循環」, 2011 年 7 月, 東京都千代田区.
- ・ Future changes of Asian monsoon simulated by the improved 20km and 60km MRI/JMA AGCM, The Second International MAHASRI/HyARC Workshop, 2011 年 8 月, ベトナム, ニャチャン.
- ・ Future changes of Asian monsoon simulated by high-resolution MRI-AGCM, The Fifth Korea-Japan-China Joint Conference on Meteorology, 2011 年 10 月, 韓国, 釜山.
- ・ Long-term changes of seasonal progress in Baiu rainfall using 109 years (1901-2009) daily station data, The Fifth Korea-Japan-China Joint Conference on Meteorology, 2011 年 10 月, 韓国, 釜山.
- ・ 梅雨の過去の長期変化, 第 9 回環境研究シンポジウム, 2011 年 11 月, 東京都千代田区.
- ・ MRI-AGCM による 2010 年夏の再現実験, 第 8 回「異常気象と長期変動」研究集会, 2011 年 11 月, 京都府宇治市.
- ・ CMIP3/CMIP5 マルチ気候モデルにおけるオホーツク海高気圧の再現性と将来変化, 第 5 回ヤマセ研究会, 2012 年 3 月, 宮城県仙台市.
- ・ Future Changes of Yamase Bringing Unusually Cold Summers over Northeastern Japan in CMIP3 Multi-Models, Research Workshop on Climate Change -Introduction of Japanese research activities to Asia-, 2012 年 3 月, 茨城県つくば市.
- 大島 長
- ・ 領域モデルを用いた春季東アジア域におけるブラックカーボンの上方輸送過程, 第 17 回大気化学討論会, 2011 年 10 月, 京都府宇治市.
- ・ Wet removal of black carbon in Asian outflow: Aerosol Radiative Forcing in East Asia (A-FORCE) aircraft campaign, 10th AeroCom Workshop, 2011 年 10 月, 福岡県春日市.
- ・ 春季東アジア域におけるブラックカーボンの上方輸送過程, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- ・ Wet Removal of Black Carbon in Asian Outflow During Aerosol Radiative Forcing in East Asia (A-FORCE) Aircraft Campaign, 2011 International Aerosol Modeling Algorithms Conference, 2011 年 12 月, アメリカ, デービス.
- ・ Aging of black carbon and its impact on aerosol optical properties and cloud condensation nuclei activities using a mixing state resolved model, International symposium on aerosol studies explored by electron microscopy, 2012 年 2 月, 茨城県つくば市.
- 岡本幸三
- ・ 全球数値予報における次期静止気象衛星の同化, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
- ・ 雲・降水域の衛星輝度温度データの同化に向けて (その 2), 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- ・ 数値予報データ同化における衛星搭載風観測データのインパクト、ドップラーライダーによる宇宙からの風観測を考える検討会, 2011 年 9 月, 東京都千代田区.
- ・ Assimilation of cloudy infrared radiances of MTSAT-1R imager, 18th International TOVS Study Conferences, Toulouse, France (第 18 回国際 TOVS 会議), 2012 年 3 月, フランス, ツールーズ.
- ・ JMA and Jaxa plans, 18th International TOVS Study Conferences, Toulouse, France (第 18 回国際 TOVS 会議), 2012 年 3 月, フランス, ツールーズ.

- 小川浩司
- ・ Impact of Argo Data in MOVE-NP, 第15回データ同化夏の学校, 2011年8月, 青森県むつ市.
 - ・ 北太平洋版気象研究所海洋データ同化システム(MOVE-NP)における Argo フロート観測のインパクト, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 2011年9月, 福岡県春日市.
 - ・ Impact of Argo in a Data Assimilation System for the North Pacific Area, OSTST/Joint Argo and Altimetry Workshop, 2011年10月18日, アメリカ, サンディエゴ.
- 尾瀬智昭
- ・ 気象研・革新モデルの積雲対流とアジアモンスーン, 日本気象学会 2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
 - ・ An Improved 20km AGCM and its Impact on Global Warming Projection, 極端気象現象とその気候変動による影響評価に関するシンポジウム(II), 2011年9月, 京都府宇治市.
 - ・ Future changes of Asian monsoon simulated by the improved 20km MRI/JMA AGCM. WCRP Open Science Conference. 2011年10月, 米国, デンバー.
 - ・ Uncertainty of future precipitation change associated with model climatology and future sea surface temperature change. World Delta Summit, 2011年11月, インドネシア, ジャカルタ.
 - ・ 地球温暖化による降水量変化のモデル依存性, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Uncertainty of future precipitation change associated with model climatology and future sea surface temperature change. American Geophysical Union (AGU) Fall Meeting, 2011年12月, 米国, サンフランシスコ.
 - ・ Uncertainty of future precipitation change associated with model climatology and future sea surface temperature change. WCRP Workshop on CMIP5 Climate Model Analysis, 2012年3月, 米国, ホノルル.
 - ・ Some topics from the CMIP3 A1B-Scenario Projection Analysis by the MRI team. International Workshop on Climate Change Projection and High Performance Computing, 2012年3月, 米国, マウイ島.
- 鬼澤真也
- ・ 伊豆大島火山における地殻変動観測(2), 日本地球惑星科学連合2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
 - ・ 2011年霧島新燃岳噴火に伴う噴煙観測および降灰調査, 日本地球惑星科学連合 2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
 - ・ 重力データから推定される霧島火山地域の地下密度構造, 2011年度日本火山学会秋季大会, 2011年10月, 北海道旭川市.
- 小野木茂
- ・ 汎用デジタルカメラを使用したP I V撮影装置(3報), 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 小畑 淳
- ・ 温暖化時の気候炭素循環変動に及ぼす植生枯死の影響, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 小山 亮
- ・ マイクロ波探査計データを使った台風強度推定手法の開発—暖気核推定誤差の要因と特徴について—, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 折笠成宏
- ・ ドライアイスシーディングに伴う山岳性降雪雲の微物理構造の変化(その5), 日本気象学会 2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
 - ・ 航空機を用いたシーディング実験, 第36回メソ気象研究会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Xバンド及びKaバンドレーダ観測によるシーディング効果の統計的特徴, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 折口征二
- ・ NHM-LETKFにおける可降水量の適応鉛直局所化手法と降水インパクト実験, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 梶野瑞王
- ・ 多重モードとフラクタル凝集形状を考慮した自由分子領域と近連続領域における粒子ダイナミクスモデル(MADMS)の開発, 日本気象学会 2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
 - ・ Modeling air, rain and snow precipitation quality over Northeast Asia using MRI-CCM2-WRF-RAQM2 model, Acid Rain 2011, 2011年6月, 中国, 北京.

- ・ 大気エアロゾルの多様性を考慮しながらダイナミクスを解くモーダル・ビンハイブリッドモデル (MBHM) の開発, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 大気エアロゾルの多様性に対応できる軽くて正確な動力学モデルの開発, 第 28 回日本エアロゾル科学・技術研究討論会, 2011 年 8 月, 大阪府堺市.
 - ・ 最先端のエアロゾルモデルにおける輸送・沈着過程, 大気環境学会, 2011 年 9 月, 長崎県長崎市.
 - ・ Modeling air, rain and snow precipitation quality over Northeast Asia, 3rd International Workshop on Atmospheric Modeling Research in East Asia, 2011 年 9 月, 中国, 成都.
 - ・ 気象研パッシブトレーサーモデル (MRI-PM) の開発, 第 17 回大気化学討論会, 2011 年 10 月, 京都府宇治市.
 - ・ 非静力学気象化学モデル (NHM-Chem) の開発, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 気象研領域モデルによる福島第一原発事故に伴う放射性物質の輸送・沈着実験, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Modeling study on LTP in northeast Asia: Japan, 13th Expert Meeting for Long-range Transboundary Air Pollutants in Northeast Asia, 2011 年 11 月, 韓国, 平昌.
 - ・ 大気エアロゾルの多様性に対応できる軽くて正確な動力学モデルの開発, 第 8 回エアロゾルシンポジウム, 2011 年 12 月, 東京都目黒区.
 - ・ Model formulation and predictability of a variety of atmospheric aerosols, International Symposium on Aerosol Studies Explored Electron Microscopy, 2012 年 2 月, 茨城県つくば市.
- 勝間田明男
- ・ レーザー歪計の潮汐・気圧応答の基線長 200m と 400m の比較, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 余震・群発地震の自動震源決定処理の開発, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 最大振幅を用いた早期マグニチュード推定, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ 余震・群発自動震源決定処理の開発 (2), 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ Rapid Source Parameter Estimation of Great Earthquakes for Tsunami Warning, One Year after the 2011 Great East Japan Earthquake -International Symposium on Engineering Lessons Learned from the Giant Earthquake-, 2012 年 3 月, 東京都港区.
- 蒲地政文
- ・ 海洋データに関する国内外の動向, 第 15 回データ同化夏の学校 2011 年 8 月, 青森県むつ市.
 - ・ データ同化基礎, 明治大学 各研究科横断型カリキュラムプロジェクト系科, 2011 年 8 月, 東京都千代田区.
 - ・ 海洋の過去から未来を知るデータ同化システム, 明治大学 各研究科横断型カリキュラムプロジェクト系科 目先端数理科学A「地球変動と数理」, 2011 年 8 月, 東京都千代田区.
 - ・ 海洋モデリングの基礎と海洋観測, 明治大学 各研究科横断型カリキュラムプロジェクト系科 目先端数理科学A「地球変動と数理」, 2011 年 8 月, 東京都千代田区.
 - ・ An Introduction to Data Assimilation (データ同化基礎), Data Assimilation Seminar, 2011 年 9 月, 中国, 北京.
 - ・ Basics of Ocean Numerical Model, Data Assimilation Seminar, 2011 年 9 月, 中国, 北京.
 - ・ Ocean Observation and International Cooperation (海洋観測と国際協力), Data Assimilation Seminar, 2011 年 9 月, 中国, 北京.
 - ・ Application of Ocean Data Assimilation (海洋データ同化の応用), Data Assimilation Seminar, 2011 年 9 月, 中国, 北京.
 - ・ 海洋での現象の解明と予測を目指した観測と数理の融合: データ同化, 明治大学グローバル COE プログラム「現象数理科学の形成と発展」コロキウム, 2011 年 10 月, 神奈川県川崎市.
 - ・ Japan National Report, 3rd GODAE Ocean View International Science Steering

Team (GOVST) Meeting, 2011 年 11 月, フランス, パリ.

- ・ JMA/MRI Ocean Data Assimilation and Atmosphere-Ocean Quasi-Coupled Data Assimilation Systems for Climate Study, JSPS 二国間交流事業共同研究・セミナー, 2012 年 1 月, 中国, 北京.
- 釜堀弘隆
 - ・ 2010 年不活発な台風活動, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 再解析の過去、現在、未来, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ JRA-55 長期再解析, 第 8 回「異常気象と長期変動」研究集会, 2011 年 11 月, 京都府宇治市.
 - ・ 全球降水量への熱帯低気圧の寄与, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 気象庁再解析 JRA-25 と JRA-55, 第 2 回データ同化ワークショップ, 2012 年 1 月, 神奈川県横浜市.
 - ・ 異常気象と気候変動, 環境サイエンスカフェ, 2012 年 2 月, 東京都千代田区.
- 川合秀明
 - ・ 海洋性境界層雲の層積雲から浅い対流への遷移, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ Results of CGILS, ASTEX, and Composite cases using JMA-GSM SCM, CFMIP/GCSS/EUCLIPSE Meeting on Cloud Processes and Climate Feedbacks, 2011 年 6 月, イギリス, エクセター.
 - ・ 世界の海域における多様な下層雲とその大気構造 -見えてくるオホーツク海の下層雲の特徴-, 第 4 回ヤマセ研究会, 2011 年 9 月, 青森県弘前市.
 - ・ 中高緯度の海洋下層雲, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 中高緯度の海上下層雲の鉛直構造、海上霧の発生頻度、及びそれらと大気状態との関係, 第 5 回ヤマセ研究会, 2012 年 3 月, 宮城県仙台市.
 - ・ Sub-grid scale Inhomogeneity Effect of Marine Boundary Layer Clouds on Precipitation and Radiation Processes Depending on the Atmospheric Boundary Layer Stability, Workshop: The Physics of Weather and Climate Models, 2012 年 3 月, アメリカ, パサデナ.
- 川畑拓矢
 - ・ 沖縄本島の降水予報における RASS 観測データのインパクト, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 那覇ガブ川豪雨に関する同化・予報実験, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 沖縄豪雨事例における地上型 GPS による水蒸気観測データ同化実験, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ Impact of the assimilation of GPS slant total delay observations on a local heavy rainfall forecast, International Symposium on Earth-Science Challenges, 2011 年 9 月, アメリカ, ノーマン.
 - ・ ドップラーライダー観測データ同化手法の開発, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Impact of the assimilation of GPS slant total delay observations on a local heavy rainfall forecast, Meteorological Satellite Users' Conference, 2011 年 12 月, 東京都千代田区.
 - ・ 沖縄ガブ川豪雨事例における GPS 視線遅延量同化の降水予報へのインパクト, 第 171 回生存圏シンポジウム, 2012 年 1 月, 京都府宇治市.
- 北嶋尚子
 - ・ 帯低気圧化した台風の構造の特徴, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 台風の温帯低気圧化時の海面水温の特徴, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 北村祐二
 - ・ 安定境界層の鉛直フラックスにおけるパラメタリゼーションスキームの依存性, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 安定成層でのフラックスリチャードソン数と乱流プラントル数の同定, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.

鬼頭昭雄

- ・ Modeling at MRI for climate variability and climate change, The Seventh Session of the Forum on Regional Climate Monitoring, Assessment and Prediction for Asia, 2011年4月, 中国, 北京.
- ・ 気象研究所全球 20km・60km 格子大気大循環モデルによる将来の極端現象変化予測, 日本気象学会 2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
- ・ High Resolution 20-km Mesh Global Climate Model and Projected Hydro-meteorological Extremes in the Future, 第25回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011年6月, オーストラリア, メルボルン.
- ・ Hydro-meteorological extremes in the future projected by high-resolution (20-km and 60-km mesh) AGCM, Workshop on Monsoon Variability, 2011年8月, インド, バンガロール.
- ・ 将来の豪雨・台風とそのままたらす災害は? ~超高解像度大気モデルによる将来の極端現象の変化予測~, 21世紀気候変動予測革新プログラム平成23年度公開シンポジウム, 2011年8月, 東京都千代田区.
- ・ 地球温暖化 最新の科学的知見, CASA 市民講座第19期地球環境大学, 2011年9月, 大阪府大阪市.
- ・ Projection of changes in future weather extremes using super-high-resolution global and regional atmospheric models in the KAKUSHIN Program, WCRP Open Science Conference, 2011年10月, アメリカ, デンバー.
- ・ High resolution global and regional climate models and projected extreme events in the future, 6th EU-Japan Workshop on Climate Change Research, 2011年10月, ベルギー, ブリュッセル.
- ・ 近年の集中豪雨について, 集中豪雨と山地災害—表層崩壊と深層崩壊—, 2011年12月, 東京都文京区.
- ・ High-resolution modeling in Japan, International Expert Meeting on the Development of Climate Scenarios to Support Adaptation Planning, 2010年11月, フィリピン, マニラ.
- ・ IPCC AR5 および今後の気候研究の方向性について, 平成23年度気象庁施設等機関研究報告会, 2012年1月, 東京都千代田区.
- ・ 気象研究所の気候モデル開発, 気候変遷ミニワークショップ, 2012年1月, 京都府京都市.
- ・ Projections of future climate change in the Asian monsoon region, Opportunities and Challenges in Monsoon Prediction in a Changing Climate (OCHAMP-2012), 2012年2月, インド, プネー.
- ・ 超高解像度大気モデルによる将来の極端現象の変化予測に関する研究, 21世紀気候変動予測革新プログラム平成23年度研究成果報告会, 2012年2月, 東京都千代田区.
- ・ Use of CMIP3/CMIP5 data for high resolution time-slice simulations, WCRP Workshop on CMIP5 model analyses, 2012年3月, アメリカ, ホノルル.
- ・ High-resolution climate modeling for projecting hydro-meteorological extremes in the future, International Workshop on Climate Change Projection and High Performance Computing - Climate 2012 -, 2012年3月, アメリカ, マウイ島.
- ・ High-resolution climate models for projecting hydro-meteorological extremes in the future, Planet Under Pressure 2012, イギリス, ロンドン.

木村一洋

- ・ 気象庁の歪計による長期的スロースリップイベントの検出の試み, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
- ・ 小さく短期的な変化を検出するためのひずみ計の降水補正(1), 日本地震学会2011年秋季大会, 2011年10月, 静岡県静岡市.

楠 研一

- ・ 渦列をもつ降水帯周辺の高頻度高層ゾンデ観測—2010年12月7日の事例—, 日本気象学会2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
- ・ 庄内平野で観測された突風と気象じょう乱—渦および渦内部の地上風について—, 日本気象学会2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.

- ・ RADAR AND IN SITU OBSERVATIONS IN A WINTER BOW ECHO AND ASSOCIATED MESO-VORTICES OVER THE JAPAN SEA AREA, 6th European Conference on Severe Storms (第6回欧州シビアストーム会議), 2011年10月, スペイン, パルママヨルカ.
- ・ THE VERTICAL STRUCTURES WITHIN A WINTER TORNADIC STORM DURING LANDFALL OVER THE JAPAN SEA AREA, 6th European Conference on Severe Storms (第6回欧州シビアストーム会議), 2011年10月, スペイン, パルママヨルカ.
- ・ 極端気象のため首都圏地上気象観測網の構築, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ 竜巻等突風のための多点型地上観測システムの開発, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ 冬季日本海側の突風に関する稠密観測, 第57回 風に関するシンポジウム, 2012年3月, 東京都千代田区.
- 楠 昌司
- ・ 地球温暖化による梅雨の変化, 日本気象学会 2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
- ・ Change in the precipitation intensity of the East Asian summermonsoon projected by CMIP3 models, The 22nd Pacific Science Congress, 2011年6月, マレーシア, クアラルンプール.
- ・ Climate of the 20th and 21st century simulations by a 60-km mesh global atmospheric model, 11th East Asian Climate (EAC) Workshop, 2011年8月, 台湾, 高雄.
- ・ Change in the East Asia Summer Monsoon Projected by 20-km and 60-km Mesh Atmospheric Global Model, AOGS 2011, 2011年8月, 台湾, 台北.
- ・ International cooperation on global warming projection with 20-km mesh atmospheric global model, International Workshop on Training Programme Development on Climate Change Downscaling Approaches: D, 2011年8月, ベトナム, ハノイ.
- ・ マルチ・モデル・アンサンブル実験で予測された梅雨の将来変化, 極端気象現象とその気候変動による影響評価に関するシンポジウム, 2011年9月, 京都府宇治市.
- ・ 空からの「水」の将来「台風、梅雨は将来どう変わるのか?」, 第9回環境研究シンポジウム, 2011年11月, 東京都千代田区.
- ・ 60km 格子全球大気モデルによる 1872~2099年実験, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ Climate change over the Maritime Continent projected by a 20-km mesh atmospheric global model, International workshop climate change and extreme climate over the maritime continent, 2011年11月, インドネシア, ジャカルタ.
- ・ Intergovernmental Panel on Climate Change 5th Assessment Report (IPCC AR5), 気候変動が灌漑施設に与える影響に関するセミナー, 2012年2月, タイ, バンコク.
- ・ Intergovernmental Panel on Climate Change 5th Assessment Report (IPCC AR5), 気候変動が灌漑施設に与える影響に関するセミナー, 2012年2月, カンボジア, プノンペン.
- ・ 超高解像度大気モデルによる気候変動予測の不確実性の定量化と低減に関する研究, 21世紀気候変動予測革新プログラム平成23年研究成果報告会, 2012年2月, 東京都千代田区.
- 朽木勝幸
- ・ 全天分光日射計による積雪物理量の推定 —積雪2層・非球形粒子モデルの導入—, 日本気象学会 2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
- ・ Retrieval of Snow Surface Roughness from MODIS: Case Study for Sastrugi over the South Pole, 第25回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011年6月, オーストラリア, メルボルン.
- ・ 双方向反射率に対する積雪層構造の効果, 雪氷研究大会 2011, 2011年9月, 新潟県長岡市.
- ・ 全天分光日射計による積雪物理量の推定, 北極域における積雪汚染と雪氷微生物が温暖化に及ぼす影響に関する第1回ワークショップ, 2011年10月, 東京都千代田区.
- ・ つくばにおける大気エアロゾル中炭素成分の季節変動, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ Snow parameter retrievals in Greenland using two-snow-layer mode, GCOM PI Workshop 2012, 2012年1月, 東京都中央区.

- ・ MODIS から推定したグリーンランド北西部における積雪物理量の経年変化, 第 2 回 SIGMA (北極域における積雪汚染と雪氷微生物が温暖化に及ぼす影響) に関するワークショップ, 2012 年 3 月, 北海道札幌市.
- 工藤 玲
 - ・ 日本のエアロゾル光学特性の長期変動と地上日射への影響, 日本気象学会, 2010 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 光吸収性エアロゾルの大気境界層構造への影響, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 栗田 進
 - ・ 粗度・ゼロ面変位の安定度依存性に関する“Zilitinkevich et al. (2008)の式”の検証 (弱安定時) と一般化 (キャノピー依存性), 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 「粗度・ゼロ面変位の安定度依存性と, そのキャノピー内乱流との関係について (観測的研究への適用に向けて)」, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 粗度・ゼロ面変位の安定度依存性など新たな地表面過程からみた気象・気候モデルの高分解能化に伴う問題点, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 栗原和夫
 - ・ AGCM にネストした NHRCM の現在気候の再現実験 (その 1) —降水・気温—, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ AGCM にネストした NHRCM の現在気候の再現実験 (その 2) —積雪—, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ AGCM にネストした NHRCM による温暖化実験 —概要—, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 黒田友二
 - ・ Role of Medium-Scale Waves on the Southern Annular Mode, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 6 月, オーストラリア, メルボルン.
 - ・ Impact Of Stratospheric Sudden Warming On The Predictability Of Tropospheric NAM Variability, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 7 月, オーストラリア, メルボルン.
 - ・ 中間規模波動の南半球環状モード形成に果たす役割動, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 小杉如央
 - ・ Decadal ocean acidification detected in western north Pacific, Joint SOLAS/IMBER/IOCCP Carbon Synthesis Meeting, 2011 年 9 月, フランス, パリ.
 - ・ pH 直接測定の時系列データが捉えた東経 137 度線における海洋酸性化, 2011 年度日本海洋学会秋季大会, 2011 年 9 月, 福岡県春日市.
- 小林昭夫
 - ・ 水準測量と潮位記録から推定される 1978~1980 年頃の高知市付近の長期的スロースリップ, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 2005 年から 2010 年頃に発生した四国中部の地殻変動, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
- 小林隆久
 - ・ 雲・降水シミュレーターの開発: 3—雨滴生成モデル—, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ Physically based radar simulator for measurements of precipitation with polarimetric and spaceborne radar, SPIE Remote Sensing Co-located with SPIE Security+Defence 2011, 2011 年 9 月, チェコ, プラハ.
 - ・ 衛星搭載雲・降水レーダーにおける多重散乱, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 太陽光発電のための任意傾斜面入射光の計算—直達・散乱光計算モデル—, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 小林ちあき
 - ・ 2010 年夏季における対流圏中緯度域の昇温について, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 2010 年夏季における中緯度対流圏の昇温, 研究会「長期予報と大気大循環」, 2011 年 7 月, 東京都千代田区.

- ・ 2010 年夏季における中緯度対流圏の昇温について, 第 8 回「異常気象と長期変動」研究集会, 2011 年 11 月, 京都府宇治市.
- ・ 従来型観測データのみを用いた長期再解析データの作成, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 財前祐二
 - ・ エアロゾル粒子の加熱による形態変化, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 黄砂イベントにおける微小鉱物粒子の粒径分布と混合状態, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Mixing state of soot collected at mountain sites in Japan, AMS 92nd Annual Meeting, 2012 年 1 月, アメリカ, ニューオリンズ.
- 齋藤篤思
 - ・ 航空機搭載用氷晶核測定装置による観測(その 2), 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 氷晶核測定装置の測定精度の検証, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 齊藤和雄
 - ・ メソスケールのデータ同化とアンサンブル研究, 第 35 回メソ気象研究会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 2008 年 8 月 5 日首都圏局地的大雨の雲解像アンサンブル実験(その 2 JNoVA による GPS 可降水量同化解析の利用), 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 局地豪雨の予測について, 「気候変動に伴う極端気象に強い都市創り」第 3 回連絡協議会, 2011 年 6 月, 東京都豊島区.
 - ・ 超高精度メソスケール気象予測, 超高精度メソスケール気象予測研究, 2011 年 6 月, 兵庫県神戸市.
 - ・ Next generation supercomputer project and the Tokyo metropolitan area deep convection field campaign, AOGS 2011, 2011 年 8 月, 台湾, 台北.
 - ・ アンサンブル予報に見られる集中豪雨/局地的大雨の予測可能性について, 第 13 回非静力学モデルに関するワークショップ, 2011 年 9 月, 新潟県長岡市.
 - ・ Studies at MRI toward cloud resolving ensemble NWP-Next generation supercomputer project and the Tokyo metropolitan area deep convection field campaign, 11th EMS Annual Meeting/10th European Conference on Applications of Meteorology, ドイツ, ベルリン.
 - ・ Next Generation Supercomputer Project and the Tokyo Metropolitan Area Deep Convection Field Campaign, International Symposium on Earth-Science Challenges (ISEC), 2011 年 9 月, アメリカ, オクラホマ.
 - ・ 集中豪雨/局地的大雨の予測, 地球シミュレータ/HPCI 戦略プログラム(分野 3) 合同シンポジウム, 2011 年 9 月, 東京都千代田区.
 - ・ GPS TPW assimilation with the JMA nonhydrostatic 4DVAR and cloud resolving ensemble forecast for the 2008 August Tokyo metropolitan area local heavy rainfalls, Fifth Korea-Japan-China Joint Conference on Meteorology, 2011 年 10 月, 韓国, 釜山.
 - ・ Studies at MRI Toward the cloud resolving NWP, Fifth Korea-Japan-China Joint Conference on Meteorology, 2011 年 10 月, 韓国, 釜山.
 - ・ 集中豪雨・局地的大雨予測への取り組み, 第 9 回環境研究シンポジウム, 2011 年 11 月, 東京都千代田区.
 - ・ 2008 年 8 月 5 日首都圏局地的大雨の雲解像アンサンブル実験(その 3 検証), 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 平成 23 年新潟福島豪雨の雲解像アンサンブル実験, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 酒井 哲
 - ・ 2 波長・偏光ライダー観測によるエアロゾルキャラクタリゼーション 夏季人工降雨実験/航空機観測による検証, 第 36 回リモートセンシングシンポジウム, 2011 年 11 月, 神奈川県横須賀市.

- 坂本 圭
 - ・ ラマンライダーによる雲水量の観測, 第16回大気ライダー研究会, 2012年2月, 東京都千代田区.
 - ・ OGCM における順圧潮汐フォーシングの導入手法, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 2011年9月, 福岡県春日市.
 - ・ 次世代日本近海予測モデルの構築に向けて —モデルの概要と再現性, 2011年度九州沖縄地区合同シンポジウム, 2011年12月, 長崎県長崎市.
 - ・ MRI.COM ネスト・モデルへの潮汐の導入(III), 2012年度日本海洋学会春季大会, 2012年3月, 茨城県つくば市.
- 佐々木秀孝
 - ・ AGCM にネストした NHRCM による温暖化実験 —寒候期—, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 笹野大輔
 - ・ Significant decrease of dissolved oxygen in the western Pacific along 165°E, The ocean carbon cycle at a time of change: Synthesis and Vulnerabilities, 2011年9月, フランス, パリ.
 - ・ 南大洋における pCO₂ と pO₂ の変動に対する生物の影響, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 2011年9月, 福岡県春日市.
- 佐藤英一
 - ・ 2010年1月13日に庄内平野を通過した渦状擾乱の構造, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Ku バンドレーダーを用いて観測した積乱雲の構造, 日本気象学会 2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 澤 庸介
 - ・ Global distributions and transport of CO₂ in upper troposphere obtained by commercial aircraft observation, European Geosciences Union General Assembly 2011, 2010年4月, オーストリア, ウィーン.
 - ・ CONTRAIL 輸送モデル比較実験で再現された上部対流圏/下部成層圏のCO₂濃度分布の季節変化, 日本地球惑星科学連合 2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
 - ・ 高頻度航空機観測で得られた夏季ユーラシア大陸上空のCO₂濃度短周期変動, 第17回大気化学討論会, 2011年10月, 京都府宇治市.
 - ・ JMA aircraft observation using a cargo aircraft C-130H, The 16th WMO/IAEA Meeting on Carbon Dioxide, Other Greenhouse Gases, and Related Measurement Techniq, 2011年10月, ニュージーランド, ウェリントン.
 - ・ CONTRAIL CO₂ observation activity and movement of network CO₂ observations, 2nd International SALSA Workshop, 2011年12月, 千葉県柏市.
 - ・ 温室効果ガスの観測 —サンプリングの基礎知識—, 文部科学省 大学発グリーンイノベーション創出事業 (環境情報) 『大気成分観測の基礎—サンプリング分析から衛星観測まで—』, 2012年3月, 東京都千代田区.
- 柴田清孝
 - ・ Simulation of tropospheric ozone in the past, present and future with a chemistry climate model of Meteorological Research Institute, SECOND “TROPOSPHERIC OZONE” WORKSHOP, 2011年4月, フランス, トゥールーズ.
 - ・ Current status of MRI models for ACC-MIP and the CMIP5 simulations, First ACC-MIP workshop of the IGAC/SPARC, 2011年4月, フランス, トゥールーズ.
 - ・ オゾンと温度の太陽 11 年周期シグナルの解析: 気象研究所の化学-気候モデルによる 1960-2006年のシミュレーション, 日本地球惑星科学連合 2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
 - ・ ソーラ・プロトン・イベントの中層大気オゾンに及ぼす影響の化学-気候モデルによるシミュレーション: 2000年7月14-16日の事例, 日本地球惑星科学連合 2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
 - ・ 再解析および化学気候モデルにおける熱帯対流圏界面領域の波活動, 日本地球惑星科学連合 2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
 - ・ Evaluation of the separate effects of stratospheric ozone assimilation and total ozone assimilation, and their impacts on the predictability of stratospheric and tropospheric

- ozone, 8th Stratospheric Processes and their Role in Climate (SPARC) Data Assimilation workshop, 2011年6月, ベルギー, ブリュッセル.
- ・ Effects of greenhouse gas increase and ozone recovery on lower stratospheric circulation and the age of air as revealed by chemistry-climate model simulations up to 2100, 11th European Meteorological Society Annual Meeting, 2011年9月, ドイツ, ベルギー.
 - ・ Solar Signals in MRI-CCM Simulations under Transient Forcings for SST and GHGs but a Perpetual Solar Max Condition, The 2nd Nagoya workshop on the relationship between solar activity and climate change, 2012年1月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 太陽活動による大気大循環変動の数値モデルによるシミュレーション, 研究集会「太陽活動と地球文明」, 2012年1月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Impacts of Global Warming and Ozone Recovery on Stratospheric Sudden Warming in Transient Simulations of a Chemistry-Climate Model, Workshop on stratospheric sudden warming and its role in weather and climate variations, 2012年2月, 京都府京都市.
- 小司禎教
- ・ GNSS を用いた水蒸気解析の改良, 測位航法学会平成 23 年度全国大会, 2011 年 4 月, 東京都港区.
 - ・ GPS 解析の改良, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ GPS による大気情報を用いた熱帯低気圧のメソスケールデータ同化発表日: 2011 年 5 月 25 日, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ Near realtime retrieval of GPS precipitable water vapor in low latitudes and mesoscale data assimilation experiment of Myanmar cyclone Nargis, グローバル COE「極端気象と適応社会の生存科学」第 15 回セミナー, 2011 年 5 月, 京都府宇治市.
 - ・ GPS 気象学, 国土交通大学校平成 23 年度専門課程高等測量研修, 2011 年 7 月, 東京都小平市.
 - ・ GPS 水蒸気情報と降水の関係について, 横浜地方気象台談話会, 2011 年 8 月, 神奈川県横浜市.
 - ・ GPS による大気計測とデータ同化, 日本気象学会夏季大学, 2011 年 8 月, 茨城県つくば市.
 - ・ 水蒸気変動監視のための首都圏 GNSS 観測, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ GPS による大気計測, 及び GPS 水蒸気情報と降水の関係について, 岐阜地方気象台談話会, 2011 年 12 月, 岐阜県岐阜市.
 - ・ GPS による気象観測データを用いた調査に係る基礎並びに高度利用について, 管区推奨調査研究「GPS による気象観測データを活用した降水予測に関する調査研究」に関する担当者打ち合わせ会, 2012 年 2 月, 東京都千代田区.
 - ・ Long-term Comparison of GPS derived PWV with Radiosonde Observation in Japan (2006-2011), GRUAN 第 4 回実施調整会議, 2012 年 3 月, 東京都千代田区.
- 新藤永樹
- ・ Simulation of the Madden-Julian Oscillation in the MRI-AGCM3. The YOTC International Symposium and the 8th Asian Monsoon Years(AMY) Workshop. 2011 年 5 月.中国.北京
 - ・ The Madden-Julian Oscillation in the MRI-AGCM and CGCM., Workshop on the Physics of Weather and Climate Models, 2012 年 3 月, アメリカ, ロサンゼルス.
- 新堀敏基
- ・ 気象レーダーにより観測された 2011 年霧島山(新燃岳)の噴煙エコー, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 気象庁非静力学モデルによる大気遅延量の推定と SAR 干渉解析への応用, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 2011 年霧島山(新燃岳)噴火に伴う量的降灰予測の試行実験, 平成 23 年度東京大学地震研究所共同利用(研究集会)「火山現象のダイナミクス・素過程研究」, 2011 年 11 月, 東京都文京区.
 - ・ 2011 年霧島山(新燃岳)噴火に伴う降灰予報の検証, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.

- ・ 2011年霧島山(新燃岳)の噴煙エコーの解析, 第27回つくば火山学セミナー「噴煙と火山灰輸送に関する新知見～霧島新燃岳噴火から～」, 2011年12月, 茨城県つくば市.
- ・ 火山噴煙の気象レーダーによる観測と降灰予測への活用に向けた研究— 2011年霧島山(新燃岳)噴火の事例から—, 平成23年度気象庁施設等機関研究報告会, 2012年1月, 東京都千代田区.
- ・ 2011年霧島山(新燃岳)噴火対応～噴煙エコーの解析と降灰の量的予測に関する研究～, 平成23年度気象研究所研究成果発表会, 2012年3月, 茨城県つくば市.
- 鈴木 修
- ・ 局地的豪雨を引き起こす収束の効果を調べる観測システムシミュレーション実験, 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 清野直子
- ・ 単層都市キャノピースキームを用いたNHMによる都市気象シミュレーション, 第13回非静力学モデルに関するワークショップ, 2011年10月, 新潟県長岡市.
- ・ 東京における赤外放射観測, 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 関山 剛
- ・ エアロゾルを宇宙から観る, 日本気象学会関西支部第33回夏季大学, 2011年8月, 京都府京都市.
- ・ Object-based verification of aerosol simulation, 10th AeroCom Workshop, 2011年10月, 福岡県春日市.
- 瀬古 弘
- ・ Improvement of rainfall forecast by assimilation of ground-based GPS data and radio occultation data, 5th FORMOSAT-3 / COSMIC Data Users Workshop, 2011年4月, 台湾, 台北.
- ・ プロファイラーで観測された屈折率の同化実験, 日本気象学会2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
- ・ LETKFをネストさせた雲解像度同化システムの開発, 日本気象学会2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
- ・ LETKFを用いた2008年7月28日の近畿地方の大雨の再現実験, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
- ・ 準天頂衛星の測位誤差軽減への効果, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
- ・ Improvement of rainfall forecast by assimilations of ground-based GPS data and radio occultation data, Japan Geoscience Union (JPGU) Meeting 2011, 2011年5月, 千葉県千葉市.
- ・ LETKFを用いた大阪平野南部で発達した雷雨の再現実験(LETKFのネストシステムを目指して), 第1回超高精度メソスケール気象予測研究会, 2011年6月, 兵庫県神戸市.
- ・ Development of an LETKF Nest system for a Cloud Resolving Model, AOGS 2011, 2011年8月, 台湾, 台北.
- ・ Development of an LETKF Nest System for a Cloud Resolving Model, International Symposium on Earth-Science Challenges (ISEC), 2010年9月, アメリカ, オクラホマ.
- ・ LETKFネストシステムによる短時間強雨の再現と観測システムシミュレーション実験, 第13回非静力学モデルに関するワークショップ, 2011年10月, 新潟県長岡市.
- ・ Development of an Letkf Two-Way Nesting System for A CloudResolving Mode, The Fifth Korea-Japan-China Joint Conference on Meteorology, 2011年10月, 韓国, 釜山.
- ・ LETKFネストシステムによる短時間強雨の再現, レーダ研究会, 2011年11月, 茨城県つくば市.
- ・ Assimilation of GNSS data for the local heavy rainfall event, The third Asia Oceania Regional Workshop on GNSS, 2011年11月, 韓国, .
- ・ LETKFネストシステムの改良, 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ 2010年10月13日に発生した雷雨の特徴と再現実験, 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.

- ・ Data Assimilation Experiments of Radio Occultation Data and Ground-based GPS Data Using JMA Meso-4dvar System, 'Impacts on Heavy Rainfall in Japan', The Second Asia/Oceania Meteorological Satellite Users' Conference, 2011年12月, 東京都千代田区.
- ・ LETKF ネストシステムの開発とアンサンブル予報実験, 第2回超高精度メソスケール気象予測研究会, 2012年3月, 兵庫県神戸市.
- 高木朗充 ・ 2011年霧島山新燃岳噴火前の山頂部地殻変動, 2011年度日本火山学会秋季大会, 2011年10月, 北海道旭川市.
- 高藪 出 ・ 稲津将*, マルチモデルアンサンブルとダウンスケーリングの研究(S-5-3), 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ 地球温暖化予測の結果はどこまで細かく出来るのか?, 第24回アゲールシンポジウム, 2012年3月, 愛媛県松山市.
- 田尻拓也 ・ MRI 雲生成チェンバーによる人工降雨基礎実験吸湿性粒子シーディングの評価, 日本気象学会2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
- ・ MRI 雲生成チェンバーによるエアロゾルの間接効果に関する実験的研究, 第28回日本エアロゾル科学・技術研究討論会, 2011年8月, 大阪府堺市.
- ・ 吸湿性粒子シーディングに関するチェンバー実験, 第36回メソ気象研究会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ MRI 雲生成チェンバーによる人工降雨基礎実験 吸湿性粒子シーディングの評価(その2), 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- 田中泰宙 ・ 全球エアロゾルモデルによる黄砂予測シミュレーションの精緻化, 日本気象学会2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.
- ・ Representation of Dust Cycle in Earth System Models, Sino-German Science Center Symposium "Dust and Climate Change: Past, Present and Future", 2011年9月, 福岡県春日市.
- ・ Representation of Dust Cycle in Earth System Models, Sino-German Science Center Symposium, 2011年9月, ドイツ, ケルン.
- ・ Variability of the naturally emitted aerosols in the climate CMIP5 experiments of Meteorological Research Institute, 10th AeroCom Workshop, 2011年10月, 福岡県春日市.
- ・ Variability of the naturally emitted aerosols in the climate CMIP5 experiments of Meteorological Research Institute, 10th AeroCom Workshop, 2011年10月, 福岡県春日市.
- ・ GCM・エアロゾル結合モデルによる積雪アルベドへのエアロゾル沈着の影響, 北極域における積雪汚染と雪氷微生物が温暖化に及ぼす影響に関する第1回ワークショップ, 2011年10月, 東京都千代田区.
- ・ Numerical simulation of the seasonal variation of elevated dust aerosol from Taklimakan desert, The 5th Korea-Japan-China Joint Conference on Meteorology, 2011年10月, 韓国, 釜山.
- ・ 次期全球エアロゾル予測モデルの開発: エアロゾル予測の高度化に向けて, 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ 気象研究所全球モデルによる放射性物質輸送シミュレーションの現状と課題, 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ Climatic effect of black carbon in MRI global climate model, International symposium on aerosol studies explored by electron microscopy, 2011年12月, 茨城県つくば市.
- ・ 気象研究所気候モデルによる歴史気候実験でのBC積雪汚染について, 北極域における積雪汚染と雪氷微生物が温暖化に及ぼす影響に関する第2回ワークショップ, 2012年3月, 北海道札幌市.
- 津口裕茂 ・ 2010年10月20日の奄美豪雨の発生要因について, 日本気象学会2011年春季大会, 2011年5月, 東京都渋谷区.

- ・ Case study of a heavy rainfall event in Amami Island on 20 October 2010, 14th Conference on Mesoscale Processes, 2011年8月, アメリカ, ロサンゼルス.
- ・ 2010年10月20日の奄美豪雨一気団変質過程による暖湿気塊の形成一, 第13回非静力学モデルに関するワークショップ, 2011年11月, 新潟県長岡市.
- ・ 2010年10月20日の“奄美豪雨”の発生要因について(その2)～気団変質過程による暖湿気塊の形成～, 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
- ・ 集中豪雨の統計的な解析,及び2010年10月20日の奄美豪雨一気団変質過程による暖湿気塊の形成一, 日本気象学会関西支部2011年度第2回例会, 2011年12月, 香川県高松市.
- ・ 集中豪雨の統計的・解析的研究-2010年10月20日の奄美豪雨-, 平成23年度気象研究所研究成果発表会, 2012年3月, 茨城県つくば市.
- 辻野博之
 対馬弘晃
 ・ 気象研究所大気・海洋結合全球気候モデル(MRI-CGCM3)における領域海洋高解像度化のインパクト, 2011年度日本海洋学会秋季大会, 2011年9月, 福岡県春日市.
 ・ 2011年東北地方太平洋沖地震津波に対する近地津波予測手法の適用, 第47回地中海底工学フォーラム, 2011年5月, 東京都目黒区.
 ・ 沖合津波記録を活用した南海トラフ沿いの地震津波の即時予測, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
 ・ 2011年東北地方太平洋沖地震津波に対する近地津波予測手法の適用, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
 ・ Near-field tsunami forecasting from ocean bottom pressure and onshore GPS data, 第25回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011年7月, オーストラリア, メルボルン.
 ・ Experimental near-field tsunami forecasting of the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake from offshore tsunami data, AOGS 2011, 2011年8月, 台湾, 台北.
 ・ 近地津波予測アルゴリズム tFISH による2011年東北地方太平洋沖地震の津波予測, 日本地震学会2011年秋季大会, 2011年10月, 静岡県静岡市.
 ・ 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震に伴う津波, 第9回環境研究シンポジウム, 2011年11月, 東京都千代田区.
 ・ 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震に伴う津波と津波即時予測の研究, 平成23年度気象研究所研究成果発表会, 2012年3月, 茨城県つくば市.
- 坪井一寛
 ・ 気象庁における南鳥島 C-130H 輸送機による温室効果ガスの観測, 日本地球惑星科学連合2011年大会, 2011年5月, 千葉県千葉市.
 ・ 分光法を利用した大気中の温室効果気体の高精度分析システムの開発, 2011年度日本地球化学学会年会, 2011年9月, 北海道, 札幌市.
 ・ 南鳥島C130H輸送機を利用した上空の温室効果ガス観測, 第17回大気化学討論会, 2011年10月, 京都府宇治市.
 ・ 気象庁における二酸化炭素の長期観測とその高度化, 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
 ・ 最新レーザー分光法を用いた標準ガスの測定, 平成23年度標準ガスクラブ, 2012年1月, 東京都中央区.
- 露木 義
 ・ データ同化と数値天気予報, 第1回データ同化ワークショップ, 2011年4月, 茨城県つくば市.
 ・ カルマンフィルタによる2-スケールモデルのデータ同化, 第1回超高精度メソスケール気象予測研究会, 2011年6月, 兵庫県神戸市.
 ・ Data assimilation in a two-scale model with Kalman filters, The Fifth Korea-Japan-China Joint Conference on Meteorology, 2011年10月, 韓国, 釜山.
 ・ カルマンフィルタによる2-スケールモデルのデータ同化, 日本気象学会2011年度秋季大会, 2011年11月, 愛知県名古屋市.
 ・ メソ現象に関わるデータ同化法の課題, 第2回超高精度メソスケール気象予測研究会, 2012年3月, 兵庫県神戸市.
- 出牛 真
 ・ 全球化学気候モデルによる21世紀気候予測実験: ハロゲンおよび気候固定実験との比

較, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.

- ・ Impacts of increases in greenhouse gases and ozone recovery on lower stratospheric circulation through 21st century: Comparison with fixed-halogen and climate simulations, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2010 年 7 月, オーストラリア, メルボルン.
- ・ Effects of stratospheric ozone on polar-night jet oscillation: A case study of northern winter 2003-2004, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2010 年 7 月, オーストラリア, メルボルン.
- ・ 光化学オキシダント予測システム精度検証のための対流圏オゾンライダー観測, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 徳野正己
 - ・ 水蒸気チャンネルによる台風の強度推定, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 水蒸気チャンネルによる台風の眼の観測, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 豊田隆寛
 - ・ 気象研全球海洋データ同化システム (MOVE) における北極海解析場の改良について, 2011 年度日本海洋学会秋季大会, 2011 年 9 月, 福岡県春日市.
 - ・ Improved analysis fields in the Arctic Ocean with the Meteorological Research Institute data assimilation system (MOVE), WCRP Open Science Conference 2011, 2011 年 10 月, アメリカ, デンバー.
 - ・ Impact of the assimilation of sea ice concentration data on an atmosphere-ocean-sea ice coupled simulation of the Arctic Ocean climate, WCRP Open Science Conference 2011, 2011 年 10 月, アメリカ, デンバー.
 - ・ 全球海洋データ同化システムによる季節から経年変動の再現, 第 61 回理論応用力学講演会, 2012 年 3 月, 東京都目黒区.
- 直江寛明
 - ・ 冬季新穂高で採集されたエアロゾル粒子の混合状態, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 化学気候モデルMRI-CCMを用いた将来予測実験において、赤道準二年振動が北半球極渦に与える影響の将来変化, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ Future change in the quasi-biennial oscillation influence on the extratropical stratosphere in the Northern Hemisphere winter simulated with an MRI chemistry climate model, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 7 月, オーストラリア, メルボルン.
 - ・ 冬季新穂高で観測されたエアロゾル粒子の組成と混合状態, 科研費新学術領域研究「東アジアにおけるエアロゾルの植物・人間系へのインパクト」平成 23 年度第 1 回全体会議, 2011 年 9 月, 東京都府中市.
 - ・ 2009 年 1 月の成層圏突然昇温と対流圏との力学結合, 第 8 回「異常気象と長期変動」研究集会, 2011 年 11 月, 京都府宇治市.
 - ・ 冬季新穂高で観測されたエアロゾル粒子の組成と混合状態, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Mixing states of aerosol particles at a mountain observation site Mt. Kiso-Komagatake, Japan: a case study in spring, AGU Fall Meeting 2011, 2011 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
 - ・ Mixing states of aerosol particles at Mt. Hotaka, Japan: a case study in winter, 92nd American Meteorological Society (AMS) Annual Meeting, 2012 年 1 月, アメリカ, ニューオーリンズ.
 - ・ Mixing state of atmospheric black carbon particles and its effect on particulate light absorption, International symposium on aerosol studies explored by electron microscopy, 2012 年 2 月, 茨城県つくば市.
 - ・ A major stratospheric sudden warming of 2009 and dynamical linkage with

- troposphere, Workshop on Stratospheric Sudden Warming and its Role in Weather and Climate Variations, 2012 年 2 月, 京都府京都市.
- 永井智広
- ・対流圏オゾン監視予測技術向上のための対流圏オゾンライダー観測, 第 29 回レーザーセンシングシンポジウム, 2011 年 9 月, 石川県七尾市.
 - ・CO₂鉛直分布測定用 1.6 μ m 帯 DIAL 受信部の開発 II —固体検出素子の性能評価—, 第 36 回リモートセンシングシンポジウム, 2011 年 11 月, 神奈川県横須賀市.
 - ・Nd:YAG レーザーを用いた二酸化窒素観測用ライダーの開発, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 仲江川敏之
- ・Nakaegawa, T., and Seasonal Climate Prediction group, Potential Applicability of the Seasonal Climate Prediction to Water Resources Managements: A case study for the upper Tone River basin, Japan, International Symposium on Weather Modification, 2011 年 3 月. つくば国際会議場.
 - ・全球大気モデルを用いた河川流量の潜在的季節予測可能性とその水平解像度依存性. 水工学講演会, 2011 年 3 月. 東京都渋谷区.
 - ・全球 1km 土地被覆データセットの選択による大気モデル土地被覆の不確実性, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・全球 1km 土地被覆データセットの選択による数値モデル土地被覆の不確実性, リモートセンシング学会 第 50 回 (平成 23 年度春季) 学術講演会, 東京都世田谷区, 2011 年 5 月.
 - ・革新全球 20km AGCM による全球主要河川の気候学的平均流量予測, 京大防災研共同研究研究会, 2011 年 9 月, 京都府宇治市.
 - ・超高解像度全球モデルと雲解像非静力学 領域モデルを用いた将来の極端気象現象の変化予測に関する研究, 水文・水資源学会 2011 年度研究発表会, 2011 年 9 月, 京都府宇治市.
 - ・Hydrometeorological Extreme Projection in the Future Climate with a Super-high-resolution AGCM, the 2nd International Symposium on Earth-science Challenges, 2011 年 9 月, アメリカ, オクラホマ.
 - ・革新全球 20km AGCM による全球主要河川の年平均流量予測, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 中野英之
- ・黒潮続流域の冷水渦中の高栄養塩の起源, 2011 年度日本海洋学会秋季大会, 2011 年 9 月, 福岡県春日市.
 - ・TRACERS IN COLD-CORE EDDIES DETACHED FROM THE KUROSHIO EXTENSION, 2012 Ocean Sciences Meeting, 2012 年 2 月, アメリカ, ソルトレイクシティ.
- 丹羽洋介
- ・CO₂ seasonal variations in the UT/LS region as observed by CONTRAIL and four transport models, European Geosciences Union General Assembly 2011, 2011 年 4 月, オーストリア, ウィーン.
 - ・Carbon budget estimation by inverse modeling with atmospheric CO₂ concentrations from surface and CONTRAIL measurements, European Geosciences Union General Assembly 2011, 2011 年 4 月, オーストリア, ウィーン.
 - ・地上観測および CONTRAIL による大気 CO₂ データを用いた炭素収支の逆解析, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・Aircraft measurements and inverse modeling for estimating Asian carbon budgets, International workshop on Asian greenhouse gases budget, 2011 年 9 月, インド, アーメダバード.
 - ・定期旅客機観測データを用いたインバージョン解析による 3 次元 CO₂ 濃度分布の導出, 第 17 回大気化学討論会, 2011 年 10 月, 京都府宇治市.
 - ・熱帯の CO₂ フラックス推定に対する定期旅客機観測データのインパクト, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・Imposing strong constraints on tropical terrestrial CO₂ fluxes using passenger aircraft based measurements, AGU Fall Meeting 2011, 2011 年 12 月, アメリカ, サン

- フランシスコ.
- ・ New constraint by aircraft measurements on estimates of global CO₂ flux and concentration field, 2nd International SALSA Workshop, 2011 年 12 月, 千葉県柏市.
- 庭野匡思
- ・ 三つの積雪変態スキームの相互比較, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 積雪不純物が雪面熱収支に与える影響の評価, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 積雪変態・アルベドプロセス (SMAP) モデルへの土壌サブモデルの導入, 日本雪氷学会/日本雪工学会, 2011 年 9 月, 新潟県長岡市.
 - ・ 積雪変態・アルベドプロセスモデルのグリーンランドへの適用, 科研費基盤 (S)「北極域における積雪汚染と雪氷微生物が温暖化に及ぼす影響」第 1 回ワークショップ, 2011 年 10 月, 東京都千代田区..
 - ・ 積雪変態アルベドプロセスモデル (SMAP) のグリーンランドへの適用, 第 34 回極域気水圏シンポジウム, 2011 年 11 月, 東京都立川市.
 - ・ グリーンランド氷床上積雪の状態変化予測, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ A numerical model to simulate physical states of snowpack for climate studies, AGU Fall Meeting 2011, 2011 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
 - ・ Development of a physical snowpack model at MRI, Colloquium of Institute for Snow and Avalanche Research, SLF/WSL, 2012 年 2 月, スイス, ダボスドルフ.
 - ・ 積雪変態・アルベドプロセスモデルの開発 —精度検証と積雪不純物が融雪に及ぼす影響評価—, 防災科学技術研究所雪氷防災研究センター 第三回積雪モデルに関するワークショップ, 2012 年 2 月, 新潟県長岡市.
 - ・ グリーンランドにおける気象・放射観測と積雪物理状態予測, 科研費基盤 (S)「北極域における積雪汚染と雪氷微生物が温暖化に及ぼす影響」第 2 回ワークショップ, 2012 年 3 月, 北海道札幌市.
- 萩野谷成徳
- ・ チベット高原ナム湖における放射観測, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ チベット高原上の湖の衛星データ解析, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ チベット高原ナム湖域の雲量日変化, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 橋本明弘
- ・ 航空機による雲シーディング実験の高解像度数値シミュレーション (その 2), 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 霧島山新燃岳噴火に伴う火山灰輸送の数値実験, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 霧島山新燃岳噴火に伴う火山灰輸送の数値実験 (その 2), 2011 年度日本火山学会秋季大会, 2011 年 10 月, 北海道旭川市.
 - ・ 新燃岳 2011 年 1 月 26 日噴火にともなう火山灰輸送の数値実験, 平成 23 年度東京大学地震研究所共同利用 (研究集会)「火山現象のダイナミクス・素過程研究」, 2011 年 11 月, 東京都文京区.
 - ・ 総合的水資源予測モデルを用いた人工降雨・降雪の影響評価, 第 36 回メソ気象研究会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 早明浦ダムを対象とする暖候期雲シーディングの模擬的数値実験, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 新燃岳 2011 年 1 月 26-27 日の噴火にともなう火山灰輸送の数値実験, 第 27 回つくば火山学セミナー「噴煙と火山灰輸送に関する新知見～霧島新燃岳噴火から～」, 2011 年 12 月, 茨城県つくば市.
- 花房瑞樹
- ・ 高解像度日本域気候モデルによる日本の地上風の再現性と将来気候における変化, 日本

- 気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
- ・ 高解像度日本域領域モデルによる中部山岳域の降水の気候再現性について, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ AGCM にネストした NHRCM による地上風の再現性, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 林 修吾
- ・ Winter Cloud-to-Ground Lightning Activity in Japan, 3rd. ISWL, 2011 年, 6 月. 札幌市, Japan.
 - ・ Downscaling experiments on regional heavy rainfall systems in the tropics. KU-WMO workshop, 2011 年 9 月, 京都市, Japan
 - ・ 雷放電数とアメダス 10 分値によるシビア現象との関係, 日本気象学会 2011 年度秋季大会. 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Relationship between severe weather intensity and lightning activity in Japan, AGU 2011 Fall Meeting, 2011 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- 林 豊
- ・ 総合討論：津波即時予測技術の革新に向けて取り組むべき課題は何か?, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 津波警報を解除するタイミングに関する研究の現状と展望, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 沖合津波観測点からの津波逆伝播で推定した 2011 年東北地方太平洋沖地震の津波波源域, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ Present Research Status and Foresight on Timely Cancellation of Tsunami Warning, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 7 月, オーストラリア, メルボルン.
 - ・ Outline of the tsunami early warnings and observation of the 2011 off the Pacific coast Tohoku earthquake tsunami, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 7 月, オーストラリア, メルボルン.
 - ・ 現地調査から見た津波浸水高の分布の特徴, 東北地方太平洋沖地震津波に関する合同調査報告会, 2011 年 7 月, 大阪府高槻市.
 - ・ Tsunami source area due to the 2011 off the Pacific coast of Tohoku earthquake determined by tsunami arrival time to offshore observatories, AOGS 2011, 2011 年 8 月, 台湾, 台北.
 - ・ 後続波による津波最大振幅の出現時および振幅の性質—日本の津波カタログによる検討, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ 茨城県北茨城市から千葉県旭市における 2011 年東北地方太平洋沖地震津波の現地調査結果, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ 遠地震津波の減衰予測のための MRMS 振幅の時間減衰モデル, 第 58 回海岸工学講演会, 2011 年 11 月, 岩手県盛岡市.
 - ・ 津波コーダと移動自乗平均振幅に基づくリアルタイム津波減衰予測, 鹿島学術振興財団第 34 回研究発表会, 2011 年 11 月, 東京都港区.
 - ・ Real-time detection of the source area of an intense tsunami - Case study of the 2011 Great East Japan Earthquake, One Year after the 2011 Great East Japan Earthquake - International Symposium on Engineering Lessons, 2012 年 3 月, 東京都港区.
- 林元直樹
- ・ 緊急地震速報における東南海海底地震計活用のための走時補正・マグニチュード補正の検討, 平成 23 年度東京大学地震研究所共同利用研究集会「地震動の瞬時解析と直前予測」, 2011 年 9 月, 東京都文京区.
 - ・ 緊急地震速報における東南海海底地震計活用のための走時補正・マグニチュード補正の検討, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ 緊急地震速報における東南海海底地震計活用のための走時補正・マグニチュード補正の検討, 日本地震工学会年次大会 2011, 2011 年 11 月, 東京都渋谷区.
- 日谷道夫
- ・ AGCM にネストした NHRCM による温暖化実験—都市域の降雪—, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.

- 平田賢治
- ・ KH10-5 スマトラ北西沖調査航海概要 —高分解能 MCS 調査—, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ スマトラ北西沖海域調査の国際的な取り組みと 2004 年波源域南部の津波発生モデル仮説のレビュー (その 3), 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
- 平原幹俊
- ・ 海洋モデルを用いた経年変動実験にみられる南大洋深層循環の変動 II, 2011 年度日本海洋学会秋季大会, 2011 年 9 月, 福岡県春日市.
- 弘瀬冬樹
- ・ 南海トラフ沿い巨大地震の複雑な発生様式の再現を目指して, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 応力場の地震タイプ分類情報を用いた日本内陸地域の地震発生確率モデルの改良, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 東北太平洋沈み込み帯の b 値の時空間変化, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ G-R 則からのずれに基づいた大地震の予測の可能性, 地震活動の評価に基づく地震発生予測システム: 標準予測モデルの構築へ向けて(2), 2011 年 7 月, 茨城県つくば市.
 - ・ 大地震前に現れる G-R 則からの逸脱について, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ 南海トラフ沿い巨大地震の複雑なパターンの再現, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ Relation between the slow slip that started since 2003 off Miyagi and Fukushima and the temporal variation of b-value, International symposium on statistical modeling and real-time probability forecasting for earthquake, 2012 年 3 月, 東京都立川市.
- 藤井陽介
- ・ 気象研究所海洋データ同化システムで作成した海洋再解析データセット, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ Ocean Observing System Evaluation for Seasonal/Decadal Prediction, GODAE Ocean View-CLIVAR-GSOP Workshop on Observing System Evaluation and Intercomparisons, 2011 年 6 月, アメリカ, サンタクルズ
 - ・ アジョイント法と海洋学での利用, 名古屋大学太陽地球環境研究所・統計数理研究所データ同化研究開発センター合同研究集会「電離圏・磁気圏モデリングとデータ同化」, 2011 年 9 月, 愛知県名古屋市
 - ・ 気象庁季節予報システムにおける TAO/TRITON ブイ・アルゴフロートのインパクト, 2011 年度日本海洋学会秋季大会, 2011 年 9 月, 福岡県春日市.
 - ・ Atmospheric Response to the ENSO in a Quasi-coupled Data Assimilation System, WCRP Open Science Conference 2011, 2011 年 10 月, アメリカ, デンバー.
 - ・ Ocean Observing System Evaluation for the Use in the Data Assimilation Systems, IAP Workshop, 2011 年 11 月, 中国, 北京.
- 藤部文昭
- ・ 降水の長期変動から見た渇水問題, 第 36 回メソ気象研究会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 日本の気温経年変化における都市バイアスの評価—区内観測データを利用した過去 1 世紀の解析—, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 長期観測データから見た日本の気候変動と異常気象, 地球観測連携拠点 (温暖化分野) 平成 23 年度ワークショップ「観測データが語る気候変動」—長期観測データの取得・発掘・保存—, 2011 年 12 月, 東京都千代田区.
- 保坂征宏
- ・ MRI モデルの現状と極域再現性, 2011 年春極域・寒冷域研究連絡会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 陸面モデル HAL の開発ポリシー, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 星野俊介
- ・ 台風強度推定法改良のための TRMM/TMI 輝度温度パターンの分類, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 干場充之
- ・ 地震動予測地図: 関連する研究成果の融合と今後 —趣旨説明にかえて, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.

- ・ 経験則からのずれ —はじめの数秒と強震動： τ_c , P_d , スペクトル, 簡易震源域推定方法—, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
- ・ 緊急地震速報と観測された震度の特徴, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
- ・ 経路上や近傍の観測点の実時間データを用いた震度予測 —実況の利用と補正の検討—, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
- ・ Expectation of ground motion using real time data of neighbor stations -A method of seismic intensity expectation without earthquakesource parameters in EEW-, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 7 月, オーストラリア, メルボルン.
- ・ Performance of Earthquake Early Warning of JMA - Review of Practical Stage of Recent 3 Years, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 7 月, オーストラリア, メルボルン.
- ・ Expectation of ground motion using real time data of neighbor stations -A method of seismic intensity expectation without earthquakesource parameters in EEW-, AOGS 2011, 2011 年 8 月, 台湾, 台北.
- ・ Review of Practical Stage of Recent 3 Years and The 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake(M9.0)-, AOGS 2011, 2011 年 8 月, 台湾, 台北.
- ・ 地震波散乱研究の知見を緊急地震速報へ, 平成 23 年度東京大学地震研究所共同利用研究集会「リソスフェアの短波長不均質性のイメージングとモニタリングに関する研究の高度化—地殻活動領域の構造特性の時空間変化の解明に向けて—», 2011 年 9 月, 東京都文京区.
- ・ 波動場のリアルタイム把握による地震動予測：次世代の緊急地震速報を目指して, 平成 23 年度東京大学地震研究所共同利用研究集会「地震動の瞬時解析と直前予測」, 2011 年 9 月, 東京都文京区.
- ・ The recent M=9 Japan earthquake and the performance of the Japanese early Warning system, REAKT kickoff meeting, 2011 年 9 月, イタリア, ナポリ.
- ・ Uses of EEW information in Japan, REAKT kickoff meeting, 2011 年 9 月, イタリア, ナポリ.
- ・ 実時間モニタリングを用いた緊急地震速報の地震動予測手法の構築 —広域同時多発余震と震源域の拡がりへの対応—, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
- ・ 東北地方太平洋沖地震の最初の 30 秒 - Earthquake Early Warning の M 推定における振幅と τ_c -, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
- ・ Earthquake Early Warning of JMA, and its performance for the 2011 Off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake (Mw9.0), Seminar on East-Asia Earthquake Studies, 2011 年 10 月, 中国, 北京.
- ・ Application of knowledge of seismic wave scattering to Earthquake Early Warning -For expectation of wave amplitude and timing -, Workshop on Recent developments in seismic wave scattering and heterogeneities in the Earth, 2011 年 10 月, 宮城県仙台市.
- ・ 波動場のリアルタイム把握による地震動予測, 日本地震工学会年次大会 2011, 2011 年 11 月, 東京都渋谷区.
- ・ Information before strong ground shaking -Earthquake Early Warning in Japan -, 14th Japan-EU Conference, 2011 年 11 月, ベルギー, ブリュッセル.
- ・ Expectation of ground motion in Earthquake Early Warning using real time monitoring of wavefield a method based on Kirchhoff-Fresnel integral without information of hypocenter and magnitude, 2011 AGU Fall meeting, 2011 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- ・ Performance of JMA Earthquake Early Warning for the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake (Mw9.0), 2011 AGU Fall meeting, 2011 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.

- 前田憲二
- ・ 統計的手法による前震の識別—日本海溝沿い領域の場合—, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 前震の統計解析に基づく東北地方太平洋沖地震の予測可能性, 地震活動の評価に基づく地震発生予測システム: 標準予測モデルの構築へ向けて(2), 2011 年 7 月, 茨城県つくば市.
 - ・ 前震の経験則に基づく東北地方太平洋沖地震の予測可能性, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ Prediction Performance of Empirically Defined Foreshocks and Its Application to the 2011 Off Tohoku Earthquake, International symposium on statistical modeling and real-time probability forecasting for earthquake, 2012 年 3 月, 東京都立川市.
- 眞木貴史
- ・ 気象庁二酸化炭素分布情報を用いた GOSAT のバイアス調査, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都千代田区.
 - ・ 逆解析を用いた黄砂放出量解析手法の開発, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都千代田区.
 - ・ 数値モデルを用いた地球環境解析, 日本農業工学会第 27 回シンポジウム・日本学会会議公開シンポジウム「地球環境・気候変動と農業環境工学」, 2011 年 9 月, 東京都江戸川区.
 - ・ 対流圏オゾンライダーを用いた気象庁化学輸送モデルの検証, 第 17 回大気化学討論会, 2011 年 10 月, 京都府宇治市.
 - ・ 逆解析を用いた初期放射線量推定システムの構築, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 実観測データを用いた炭素循環解析システムの構築, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 益子 渉
- ・ 気象庁非静力学モデルによる台風の再現性の統計的検証, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 2010 年 12 月 12 日 庄内平野に突風をもたらしたシアラインの構造と形成機構, 日本気象学会 2011 年秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 関東平野で発生する竜巻の環境場の特徴, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ T0613 号に伴う竜巻の高解像度数値実験, 第 2 回超高精度メソスケール気象予測研究会, 2012 年 3 月, 兵庫県神戸市.
- 増田一彦
- ・ 幾何光学近似手法の適用範囲, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 松枝秀和
- ・ 大気中ラドンの観測による東アジア地域の微量気体放出量の評価, 2011 年度日本地球化学会年会, 2011 年 9 月, 北海道札幌市.
- 眞野裕三
- ・ Nonstandard FDTD による電磁波散乱問題の計算, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 静止気象衛星から求めた陸域エアロゾル, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 馬淵和雄
- ・ 近年発生したエルニーニョ前後の大気中 CO₂ 濃度変動と陸域過程との関係に関する数値実験解析, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ The first view of simulation results of BAIM2 for KBU, The 2nd International Workshop on Asian Dryland Model Intercomparison Project-ADMIP, 2011 年 7 月, 中国, 蘭州.
 - ・ Relationship between interannual variation of the atmospheric CO₂ concentration and land surface process in the period of recent El Niño event, The 3rd iLEAPS International Science Conference, 2011 年 9 月, ドイツ, ガルミッシュ・パルテンキルヘン.
 - ・ 大気中 CO₂ 濃度変動と北半球陸域過程との関係に関する数値実験解析, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 近年発生したエルニーニョ前後の陸域炭素収支と LAI 季節進行との関係に関する数値実験解析, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 気候モデルを用いた陸域生態系—気候相互作用研究における衛星観測データへの期待,

- 第 11 回共生科学研究センターシンポジウム～宇宙からの目で地球を知る＊地域を知る～, 2011 年 12 月, 奈良県奈良市.
- ・ Comparison of the simulation results of GCM with satellite data :cases of interannual changes of land surface temperature and soil moisture, 平成 23 年度地球環境観測ミッション合同 P I ワークショップ, 2012 年 1 月, 東京都中央区.
- 三上正男
- ・ 日本へのダスト沈着量分布と沈着過程, 第 28 回日本エアロゾル科学・技術研究討論会, 2011 年 8 月, 大阪府堺市.
 - ・ ダストの発生・輸送・沈着過程の観測・解析モデリング, 日本気象学会 2010 年度秋季大会, 2010 年 10 月, 京都.
- 水田 亮
- ・ Future Change in Extratropical Cyclones Associated with Change in the Upper Troposphere, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 7 月, オーストラリア, メルボルン.
 - ・ 高解像度大気モデルでの北半球冬季の低気圧活動の将来変化, 極端気象現象とその気候変動による影響評価に関するシンポジウム, 2011 年 9 月, 京都府京都市.
 - ・ 高解像度大気モデルでの中緯度対流圏中上層の将来変化, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Future Change in Extratropical Cyclones Associated with Change in the Upper Troposphere, AGU 2011 Fall Meeting, 2011 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
 - ・ Future Change in Extratropical Cyclones in CMIP5 models Associated with Change in the Upper Troposphere, CMIP5 Workshop on Model Analysis, 2012 年 3 月, アメリカ, ホノルル.
- 緑川 貴
- ・ 北太平洋亜熱帯南部における海面 CO₂ 分圧の増加速度の低下, 2012 年度日本海洋学会春季大会, 茨城県つくば市.
- 湊 信也
- ・ アルゴデータを使った台風近傍の水温変化の検証, 2011 年度日本海洋学会秋季大会, 2011 年 9 月, 福岡県春日市.
- 村上茂教
- ・ エネルギーサイクル再考, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 完新世中期・最終氷期極大期における大気局所エネルギー論, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 千葉県千葉市.
 - ・ エネルギー論再考 (第 2 報), 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 村上正隆
- ・ Japanese Cloud Seeding Experiments for Precipitation Augmentation (JCSEPA) -- Some results from summertime and wintertime weather modification programs --, Asian Hydrotropic Flare Weather Modification Technology Symposium, 2011 年 4 月, 中国, 西安.
 - ・ Recent activity of ice initiation study at MRI, The International Workshop on Ice Nucleation in Tropospheric Clouds, 2011 年 5 月, ドイツ, エッチンゲン.
 - ・ Validation of MRI NHM with aircraft and ground-based observations of orographic snow clouds, AOGS 2011, 2011 年 8 月, 台湾, 台北.
 - ・ 高知上空における大気エアロゾルと雲形成, 第 28 回日本エアロゾル科学・技術研究討論会, 2011 年 8 月, 大阪府堺市.
 - ・ Japanese Cloud Seeding Experiments for Precipitation Augmentation (JCSEPA)---New Approaches and Some Results from Wintertime and Summertime Weather Modification Programs ---, 10th WMO Scientific Conference on Weather Modification, 2011 年 10 月, インドネシア, バリ.
 - ・ 渇水対策・水資源確保のための人工降雨・降雪技術の現状, 第 9 回環境研究シンポジウム, 2011 年 11 月, 東京都千代田区.
 - ・ 趣旨説明と基調講演, 第 36 回メソ気象研究会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 吸湿性粒子を用いたシーディング実験 -航空機観測の結果-, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Activated fraction of Asian dust particles as ice nuclei, AGU Fall Meeting 2011, 2011

- 年 12 月, アメリカ, サンフランシスコ.
- ・ 降雪研究に関する近年の動向について, 第 9 回天気予報研究会, 2012 年 2 月, 東京都千代田区.
 - ・ 気象学におけるミクロンサイズ粒子の計測, フロンティアセミナー, 2011 年 3 月, 東京都目黒区.
- 村崎万代
- ・ JMANHM による冬季日本海側の降水予測精度の検証, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 村田昭彦
- ・ 高解像度日本域気候モデルによる夏季の高温の将来予測, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 非静力学地域気候モデルによる日本域の地上気温の再現性, 第 13 回非静力学モデルに関するワークショップ, 2011 年 10 月, 新潟県長岡市.
 - ・ Summertime temperature extremes over Japan projected by a high-resolution regional climate model, Fifth Korea-Japan-China Joint Conference on Meteorology, 2011 年 10 月, 韓国, 釜山.
 - ・ AGCM にネストした NHRCM による地上気温の再現性, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Evaluation of surface air temperature in Japan simulated by non-hydrostatic regional climate model (NHRCM), The Third APN Workshop of Building Asian Climate Change Scenarios by Multi-Regional Climate Models Ensemble, 2012 年 2 月, 韓国, 済州.
- 毛利英明
- ・ Large-scale velocity fluctuations of turbulence, 13th European Turbulence Conference, 2011 年 9 月, ポーランド, ワルシャワ.
 - ・ 乱流エネルギー散逸率の規格化について, 研究集会「乱流の普遍性と個別性」, 2012 年 1 月, 京都府京都市.
 - ・ 乱流エネルギー散逸率の規格化について, 日本物理学会第 67 回年次大会, 2012 年 3 月, 兵庫県西宮市.
- 安田珠幾
- ・ 大気海洋結合モデルを用いた 2010 年夏の予測実験, 研究会「長期予報と大気大循環」, 2011 年 7 月, 東京都千代田区.
 - ・ 大気海洋結合モデルを用いた 2010 年夏の季節予測, 2011 年度日本海洋学会秋季大会, 2011 年 9 月, 福岡県春日市.
 - ・ Seasonal Forecast System of Japan Meteorological Agency: Anomalous Hot Summer 2010 in Japan and Its Relationship to the Tropical SST Anomalies, WCRP Open Science Conference, 2011 年 11 月, アメリカ, デンバー.
 - ・ Interdecadal variability and linear trend of sea level around Japan in the 20th and 21st centuries, WCRP Open Science Conference, 2011 年 11 月, アメリカ, デンバー.
 - ・ Current status of seasonal forecast research, Twelfth Joint Meeting for the Seasonal Prediction of the East Asian Winter Monsoon, 2011 年 11 月, 東京都千代田区.
 - ・ 大気海洋結合モデルを用いた 2010 年夏の季節予測実験, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Inter-model uncertainty of regional pattern of sea level rise in the western North Pacific, WCRP Workshop on CMIP5 model analyses, 2012 年 3 月, アメリカ, ホノルル.
 - ・ 渦解像海洋大循環モデルにおける日本沿岸水位の経年変動, 2012 年度日本海洋学会春季大会, 2012 年 3 月, 茨城県つくば市.
- 藪 将吉
- ・ 気象庁全球大気モデルにおける散乱を考慮した長波放射スキームの開発, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 山内 洋
- ・ C バンド固体素子二重偏波レーダーで捉えた 2011 年 8 月 26 日東京都東部の大雨, レーダー研究会, 2011 年 11 月, 茨城県つくば市.
 - ・ 偏波間位相差を用いた地形クラッタの影響の軽減, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 山口宗彦
- ・ 理想的な台風渦に対する特異ベクトルの性質, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5

- 月, 東京都渋谷区.
- ・ 台風進路予報における初期値問題, 第 5 回気象庁数値モデル研究会・日本気象学会 THORPEX 研究連絡会第 5 回研究集会, 2011 年 9 月, 東京都大手町.
 - ・ アンサンブル手法による台風進路予報, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ GIFS-TIGGE products for SWFDP, 8th Asian THORPEX Regional Committee Meeting, 2011 年 12 月, 東京都.
 - ・ TC ensemble forecast performance, Training Courses on Tropical Cyclone Ensemble Forecasts, 2011 年 12 月, 中国, 南京.
 - ・ Typhoon Track Prediction - Current and Future Perspectives, 16th Annual US-Japan Meteorological Technical Exchange Meeting, 2012年2月, 神奈川県横須賀市.
- 山崎明宏
- ・ スカイラジオメーターが観測した北極域混合相雲集中観測期間中のエアロゾル光学特性, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
- 山田芳則
- ・ JMANHM による冬季日本海側の降水予測精度の検証, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 東京・雑司ヶ谷に大雨をもたらした 2008 年 8 月 5 日の積乱雲の内部構造, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ 太陽光発電量予測に向けた短波放射量予測の検証 2011:太陽光発電量予測に向けた短波放射量予測の検証, 第 13 回非静力学モデルに関するワークショップ, 2011 年 10 月, 新潟県長岡市.
 - ・ 太陽光発電量予測に向けた短波放射量予測の検証 -メソ気象数値予報モデル(MSM)-, 日本気象学会秋季大会, 2011 年 10 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 太陽光発電量予測に向けた短波放射量予測の検証 -週間予報モデル(GSM)-, 日本気象学会秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ JMANHM による冬季日本海側の降水予測精度の検証, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 千葉県柏市に竜巻をもたらした 2011 年 4 月 25 日の降水システムの構造, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 気象庁非静力学モデルのバルク微物理モデルに組み込んだオプション, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Prediction accuracy of shortwave radiation of the Japan Meteorological Agency meso-scale model in the Kanto region, Japan. 1st International Conference Energy & Meteorology (ICEM 2011), 2011 年 11 月, オーストラリア, ゴールドコースト.
 - ・ 気象技術のエネルギー予測への応用, JCRE フォーラム: 「再生可能エネルギーの出力変動予測に関する最先端技術」, 2011 年 12 月, 千葉県千葉市.
 - ・ Retrieval of high temporal and spatial distribution of sea ice velocity fields using Doppler radar data, The 27th International symposium on Okhotsk Sea & sea ice, 2012 年 2 月, 北海道紋別市.
 - ・ Disaster-producing severe convective events in and near the Tokyo Metropolitan, 2012 National Severe Weather Workshop, 2012 年 3 月, アメリカ, オクラホマ.
- 山中吾郎
- ・ Interdecadal variability of the Pacific subtropical cell: sensitivities to effective ocean optical properties, 第 25 回国際測地学・地球物理学連合総会, 2011 年 6 月, オーストラリア, メルボルン.
 - ・ 熱帯太平洋の短波吸収におけるクロロフィル分布の影響, 2011 年度日本海洋学会秋季大会, 2011 年 9 月, 福岡県春日市.
 - ・ Pacific subtropical cell response to effective ocean optical properties, Ocean Sciences Meeting 2012, 2012 年 2 月, アメリカ, ソルトレイクシティ.
- 山本哲也
- ・ きわめて浅い圧力源による山体変形 -樽前山の例-, 2011 年度日本火山学会秋季大会, 2011 年 10 月, 北海道旭川市.

- 行本誠史
- ・ 気象研究所地球システムモデル (MRI-ESM1) の気候再現性と気候感度, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
- 弓本桂也
- ・ Development and Preliminary Results of SPRINTARS/4D-Var Data Assimilation System, 10th AeroCom Workshop, Kasuga, Japan, October 2011.
 - ・ グリーン関数法を用いた一酸化炭素排出量の逆推定, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ Recent Inverse Estimate of Chinese CO emission with Forward Sensitivity and Green's Function Method, 3rd International Workshop on Emission Inventory in Asia, Yokohama, Japan, February 2012.
- 横田 崇
- ・ 計測震度の即時的評価, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ 震度分布より推定する地震規模, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ 「東海地震に関連する情報」について, 日本災害情報学会第 13 回学会大会, 2011 年 10 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 伊豆東部火山群における地震と火山の防災情報～地震活動の予測情報と噴火警戒レベルについて～, 日本災害情報学会第 13 回学会大会, 2011 年 10 月, 愛知県名古屋市.
- 吉田康宏
- ・ 森町アクロス送信信号の準リアルタイム解析, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震の震源過程, 日本地球惑星科学連合 2011 年大会, 2011 年 5 月, 千葉県千葉市.
 - ・ 即時的マグニチュード推定手法の検証, 日本地震学会 2011 年秋季大会, 2011 年 10 月, 静岡県静岡市.
 - ・ Yoshida, Y., A. Katsumata, T. Kunitomo* and M. Kumazawa*, Temporal variation of tensor transfer functions obtained by ACROSS signal transmitted from Morimachi, 2012 年 1 月, サウジアラビア, リヤド.
 - ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震の地震像と巨大地震早期規模推定に向けた取り組み, 平成 23 年度気象庁施設等機関研究報告会, 2012 年 1 月, 東京都千代田区.
 - ・ 平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震の地震像と巨大地震の早期規模推定に向けた取り組み, 平成 23 年度気象研究所研究成果発表会, 2012 年 3 月, 茨城県つくば市.
- 吉村 純
- ・ 高解像度全球大気モデルの長期積分における熱帯低気圧(2), 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ Tropical cyclone frequency and its changes in a 20C-21C simulation by a global atmospheric model, 3rd International Summit on Hurricanes and Climate Change, 2011 年 6 月, ギリシャ, ロードス島.
 - ・ 地球温暖化と台風について, 日本気象学会九州支部「第 11 回気象教室」, 2011 年 8 月, 福岡県福岡市.
- 吉村裕正
- ・ 二重フーリエ級数を使用した非静力全球スペクトル大気モデルの開発, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ Non-hydrostatic global spectral atmospheric model using double Fourier series, Dynamical core seminar, 2012 年 2 月, 兵庫県神戸市.
- 和田章義
- ・ 北太平洋海域における Argo データを用いた台風最大強度と海洋貯熱量の関係の検証, 日本気象学会 2011 年春季大会, 2011 年 5 月, 東京都渋谷区.
 - ・ Roles of the ocean in tropical-cyclone intensity and intensification, AOGS 2011, 台湾, 台北.
 - ・ 2011 年台風 Ma-on における台風海洋相互作用, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.
 - ・ 成熟期の台風強度と海面水温の関係, 日本気象学会 2011 年度秋季大会, 2011 年 11 月, 愛知県名古屋市.